

まちのわだい

交通安全の願いをこめて

七夕交通安全出発式

七夕を前にした7月6日、「七夕交通安全出発式」が町立第3保育所で行われました。

これは、交通事故が増える夏場をひかえ、事故防止を呼びかけようと御船地区交通安全協会（西口俊一会長）が、毎年、警察などと連携して開いているものです。

関係者や保護者など約100人が集まる中、まず、園児5人が短冊に書いた交通安全への願いを一人ずつ読み上げました。さらに力強く太鼓を演奏し、式に華を添えました。



短冊を元気よく読み上げる園児たち



「安全運転お願いします」

最後に、彦星や織姫などの衣装を身にまとった園児たちが、「みんなが交通事故に遭いませんように」など、元気よく交通安全を宣言。参加者から盛んな拍手が送られました。

この後、園児たちは、パトカーや白バイに先導されて、町総合体育館前の国道443号線へ移動し、街頭キャンペーンを行いました。

中央分離帯で協会の役員などに抱きかかえられて、ドライバ―に「安全運転をお願いします」と、キャンペーングッズを渡しなが、にこやかに呼びかけていました。

レトロな掲示板がお目見え

辻の城団地公民館

7月10日、辻の城団地公民館敷地内にレトロな掲示板がお目見えしました。

これは、同地区の区長・中川公則さんほか自治会役員6人の方々が、なかがわきみのり「みんなに親しまれるものを作り、明るい地域づくりの一助になれば」と設置したもので、すべて手作り。材料も、杉の角材や杉の皮、もうそう孟宗竹など、役員のみなさんが持ち寄った自然の素材でできています。

設置されたばかりの掲示板は、新しい住宅が建ち並ぶなかで、ひときわ古めかしく、際立っていました。



出来上がった手作りの掲示板



100歳の祝福を受ける米光さん（写真手前）

晴れの100歳を祝う

よねみつ まさる
土山の米光 捷さん

7月7日、めでたく100歳を迎えた土山の米光捷さんに、緒方副町長から町の敬老祝金が贈られました。

米光さんは、明治42年7月4日生まれ。郡内の小・中学校の校長や町教育委員会委員などを務めた経歴もあります。5年ほど前に、熊本市の老人保健施設に入所し、1年半前からは同施設の敷地内にある病院に移り、車いすでの散歩などを楽しんでいます。

病院では、長男聖さんや長女景好さん、スタッフなどに囲まれる中、緒方副町長のお祝いの言葉に対し、「ありがとうございます」と応えていました。